

# 宮崎県感染症週報

宮崎県薬務感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

## 令和6年第21週の発生動向

### □ 全数報告の感染症 (21 週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 2 例。3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 1 例。
- 4 類感染症：報告なし。
- 5 類感染症：侵襲性インフルエンザ菌感染症 1 例、水痘 (入院例) 1 例、梅毒 2 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	都城	20歳代	女	無症状病原体保有者	なし
			20歳代	男	肺結核	咳、痰、発熱
3類	腸管出血性大腸菌感染症	宮崎市	5~9歳	男	—	水様性下痢、発熱、咳嗽、O26(VT1)
5類	侵襲性インフルエンザ菌感染症	延岡	0~4歳	女	—	発熱、ショック、肺炎、菌血症
	水痘 (入院例)	日南	20歳代	男	検査診断例	発熱、発疹、膿痂疹
	梅毒	宮崎市	20歳代	女	早期顕症梅毒Ⅱ期	梅毒性バラ疹
都城		50歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	硬性下疳、鼠径部リンパ節腫脹	

### □ 定点把握の対象となる 5 類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 914 人 (定点当たり 24.5) で、前週比 114% と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患は新型コロナウイルス感染症、RSウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎及び手足口病で、減少した疾患は咽頭結膜熱だった。

#### ★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

##### 【新型コロナウイルス感染症】

報告数は 193 人 (3.3) で、前週比 141% と増加した。高千穂 (12.5)、日南 (5.2)、小林 (4.3) 保健所からの報告が多く、年齢群別は 15 歳未満が約 3 割だった。

##### 【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

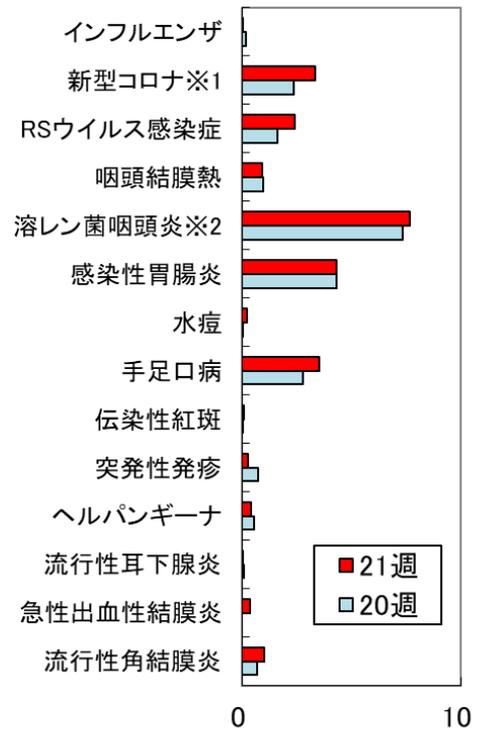
報告数は 276 人 (7.7) で、前週比 105% と増加した。例年同時期の定点当たり平均値\* (1.5) の約 5.3 倍であった。日南 (15.0)、延岡 (10.0)、宮崎市 (8.9) 保健所からの報告が多く、年齢群別は 4 歳から 7 歳が全体の約半数を占めた。

##### 【手足口病】

報告数は 127 人 (3.5) で、前週比 127% と増加した。例年同時期の定点当たり平均値\* (2.7) の約 1.3 倍であった。延岡 (7.5)、都城 (4.8)、日向 (4.0) 保健所からの報告が多く、年齢群別は 1 歳から 2 歳が全体の約 7 割を占めた。

\* 過去 5 年間の当該週、前週、後週 (計 15 週) の平均

《前週との比較》

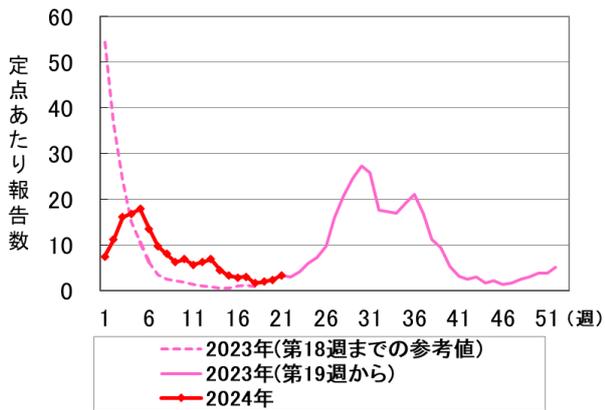


定点あたり報告数

※1 新型コロナウイルス感染症

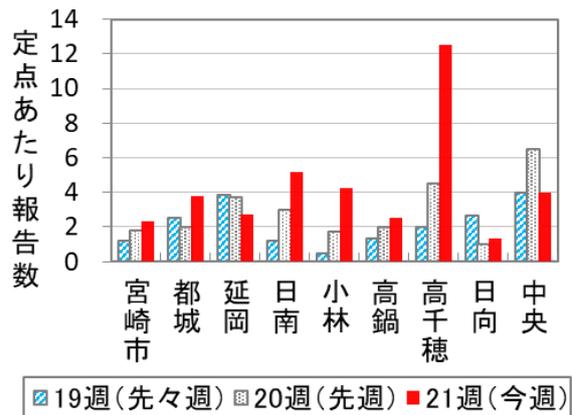
※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

新型コロナウイルス感染症 発生状況

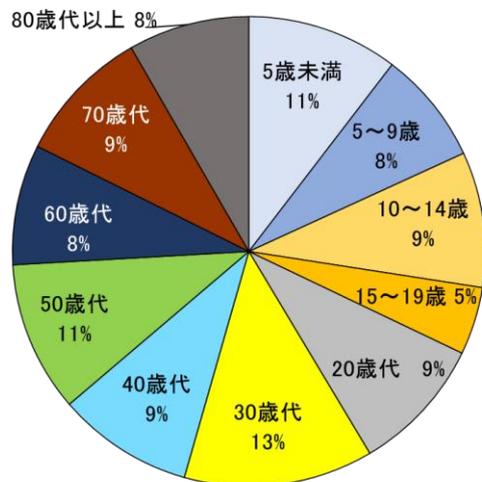


※新型コロナウイルス感染症の第1週～第18週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

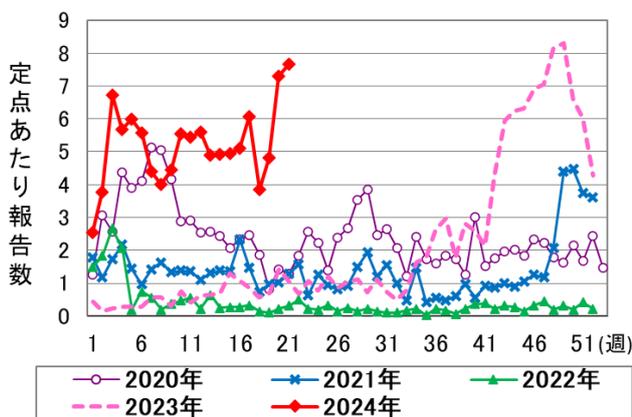
新型コロナウイルス感染症 保健所別推移(3週分)



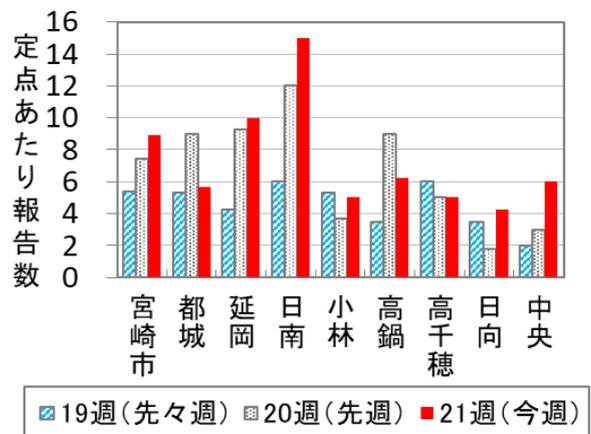
新型コロナウイルス感染症年齢群別グラフ(第21週)



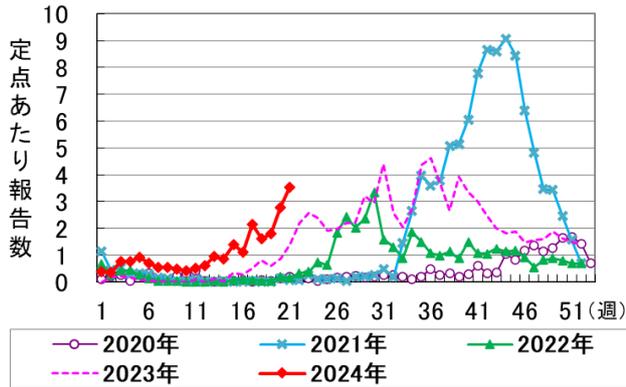
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 発生状況



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 保健所別推移(3週分)

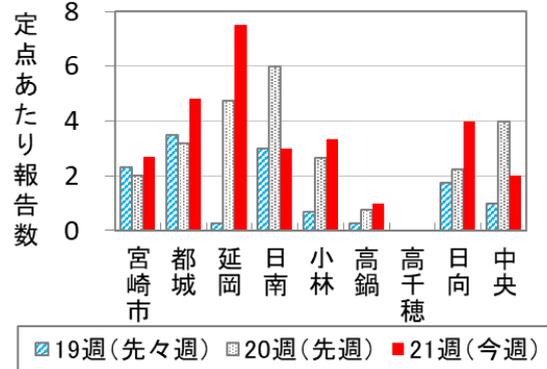


手足口病 発生状況



手足口病

保健所別推移 (3週分)



★基幹定点からの報告★ なし

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.9)
都城	なし
延岡	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(10.0) 手足口病(7.5)、急性出血性結膜炎(2.0)
日南	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(15.0)
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	咽頭結膜熱(3.0)
日向	なし
中央	なし

※流行警報レベル開始基準値※

- ・咽頭結膜熱(3)
- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8)
- ・手足口病(5)
- ・急性出血性結膜炎(1)

口病原体検出情報 (衛生環境研究所微生物部 令和6年5月27日までに検出)

★細菌

同定細菌名	年齢(歳)	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
EHEC(O26:H11 VT1)	5~9歳	男	2024.05.04	腹痛、水様性下痢、嘔吐、発熱	便	2024.05.16
EHEC(O157:HUT VT1,2)	0~4歳	女	2024.05.04	水様性下痢	便	2024.05.16
Salmonella Schwarzengrund (O4:d:1,7)	10歳代	女	2024.05.02	水様性下痢、腹痛、発熱	便	2024.05.11
EHEC(O26:H11 VT1)	30歳代	女	2024.05.07	水様性下痢、頭痛	便	2024.05.14
EHEC(O26:H11 VT1)	0~4歳	男	2024.05.07	水様性下痢、嘔吐、発熱	便	2024.05.14
EHEC(O26:H11 VT1)	0~4歳	女	2024.05.07	水様性下痢	便	2024.05.14

○保育施設において腸管出血性大腸菌 O26 (VT1) の集団感染が発生した。腸管出血性大腸菌感染症はベロ毒素 (VT) を産生、または VT 遺伝子を保有する腸管出血性大腸菌の感染によって起こり、主な症状は腹痛、下痢および血便である。嘔吐や 38℃ 台の発熱をとともうこともある。

VT 等の作用により血小板減少、溶血性貧血、急性腎障害を来して溶血性尿毒症症候群 (HUS) を引き起こし、脳症などを併発して死に至ることがある (IASR Vol. 44 No. 5 (2023. 5))。腸管出血性大腸菌感染症は夏季に増加する傾向にあり、今後も注意が必要である。

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
Influenza virus B(Victoria lineage)	5~9歳	女	2024.04.15	インフルエンザB型、38.3℃、咽頭痛	鼻汁	2024.05.20

## 🇯🇵 全国 2024 年第 20 週の発生動向

### □ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	280 例				
3類感染症	コレラ	2 例	腸管出血性大腸菌感染症	68 例	腸チフス	1 例
4類感染症	E型肝炎	14 例	A型肝炎	4 例	エムボックス	1 例
	重症熱性血小板減少症候群	4 例	つつが虫病	9 例	デング熱	5 例
	日本紅斑熱	19 例	マラリア	1 例	ライム病	1 例
	レジオネラ症	34 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	7 例	ウイルス性肝炎	2 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	26 例
	急性脳炎	5 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	34 例
	後天性免疫不全症候群	15 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	13 例	侵襲性肺炎球菌感染症	62 例
	水痘(入院例)	7 例	梅毒	203 例	播種性クリプトコックス症	1 例
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例	百日咳	20 例	麻しん	1 例

### □ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 125%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は新型コロナウイルス感染症、RSウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎及び手足口病で、減少した主な疾患はインフルエンザであった。

新型コロナウイルス感染症の報告数は 16,230 人(3.3)で前週比 119%と増加した。沖縄県(13.4)、北海道(5.3)、鹿児島県(4.7)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 2 割を占めた。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は 15,421 人(4.9)で前週比 139%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値\*(1.0)の約 4.7 倍であった。山形県(11.5)、鳥取県(10.7)、北海道(8.3)からの報告が多く、年齢群別では 4 歳から 7 歳が全体の約 4 割を占めた。

\* 過去 5 年間の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均

宮崎県 感染症情報

(71 定点医療機関)

2024年 第21週(05月20日～05月26日)

疾病名		第20週	第21週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	10	2	1			1					
	定点当り	0.17	0.03	0.06	0.00	0.00	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
新型コロナウイルス感染症	報告数	137	193	37	38	19	26	17	15	25	8	8
	定点当り	2.36	3.33	2.31	3.80	2.71	5.20	4.25	2.50	12.50	1.33	4.00
RSウイルス感染症	報告数	58	87	42	5	14	1		18		7	
	定点当り	1.61	2.42	4.20	0.83	3.50	0.33	0.00	4.50	0.00	1.75	0.00
咽頭結膜熱	報告数	35	32	12	8	3		2		3	4	
	定点当り	0.97	0.89	1.20	1.33	0.75	0.00	0.67	0.00	3.00	1.00	0.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	263	276	89	34	40	45	15	25	5	17	6
	定点当り	7.31	7.67	8.90	5.67	10.00	15.00	5.00	6.25	5.00	4.25	6.00
感染性胃腸炎	報告数	155	155	54	27	7	14	27	10	1	12	3
	定点当り	4.31	4.31	5.40	4.50	1.75	4.67	9.00	2.50	1.00	3.00	3.00
水痘	報告数	1	7	6				1				
	定点当り	0.03	0.19	0.60	0.00	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	100	127	27	29	30	9	10	4		16	2
	定点当り	2.78	3.53	2.70	4.83	7.50	3.00	3.33	1.00	0.00	4.00	2.00
伝染性紅斑	報告数	1	2	2								
	定点当り	0.03	0.06	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	26	9	1	1	1	4				2	
	定点当り	0.72	0.25	0.10	0.17	0.25	1.33	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	19	15	6	1	2		3	2		1	
	定点当り	0.53	0.42	0.60	0.17	0.50	0.00	1.00	0.50	0.00	0.25	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	2	1	1								
	定点当り	0.06	0.03	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数		2			2						
	定点当り	0.00	0.33	0.00	0.00	2.00						
流行性角結膜炎	報告数	4	6	3		3						
	定点当り	0.67	1.00	1.00	0.00	3.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2024年 第1週～21週 保健所受理分)

2類感染症	結核	35例(2)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	19例(1)		
4類感染症	E型肝炎	2例	A型肝炎	1例
	つつが虫病	14例	日本紅斑熱	4例
5類感染症	アメーバ赤痢	2例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	2例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	7例	後天性免疫不全症候群	2例
	侵襲性肺炎球菌感染症	5例	水痘(入院例)	4例(1)
	播種性クリプトコックス症	1例	百日咳	34例
			重症熱性血小板減少症候群	4例
			レジオネラ症	5例
			クロイツフェルト・ヤコブ病	2例
			侵襲性インフルエンザ菌感染症	4例(1)
			梅毒	69例(2)

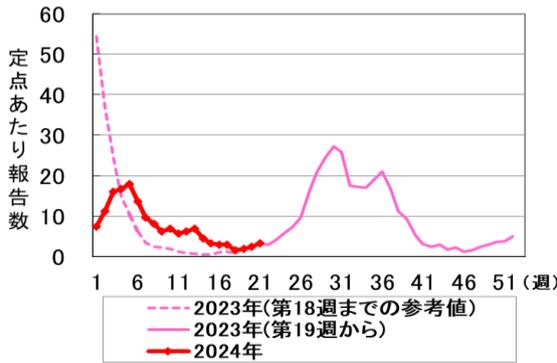
( )内は今週届出分、再掲

# 新型コロナウイルス感染症情報《県内第 21 週、全国第 20 週（再掲）》

## □ 県内第 21 週 新型コロナウイルス感染症発生動向

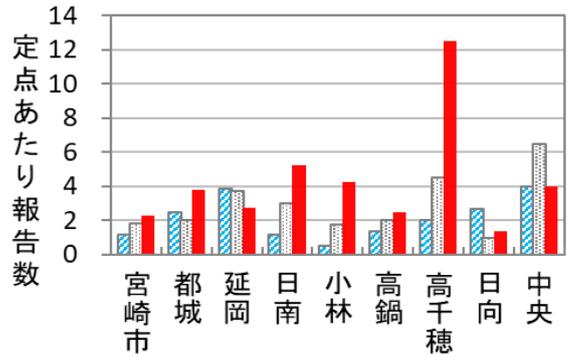
5 月 20 日～5 月 26 日までの 1 週間で 193 人(3.3)の報告があった。前週比 141%と増加し、高千穂(12.5)、日南(5.2)、小林(4.3)保健所管内からの報告が多かった。

新型コロナウイルス感染症 発生状況



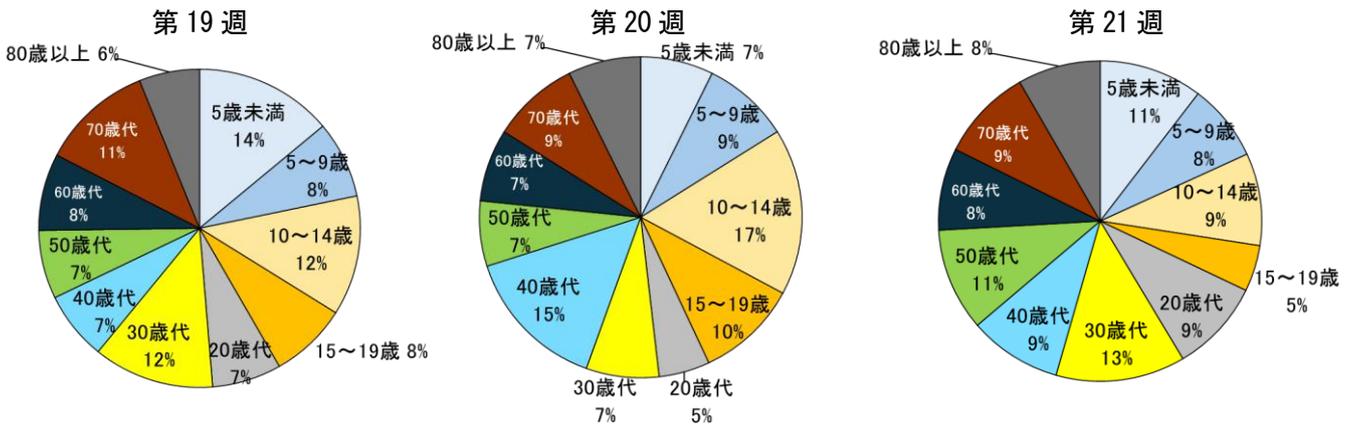
※新型コロナウイルス感染症の 2023 年第 1 週～第 18 週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

新型コロナウイルス感染症 保健所別推移(3 週分)

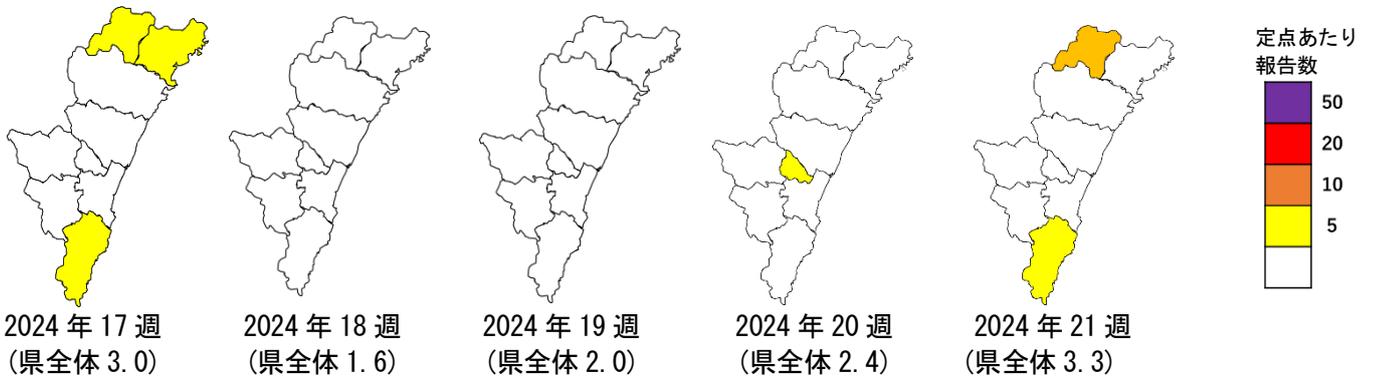


■ 19週(先々週) ■ 20週(先週) ■ 21週(今週)

新型コロナウイルス感染症 年齢群別グラフ



保健所別新型コロナウイルス感染症流行マップ 2024 年第 17 週～2024 年第 21 週



## □ 全国第 20 週 新型コロナウイルス感染症発生動向

5 月 13 日～5 月 19 日までの 1 週間で 16,230 人(3.3)の報告があった。前週比 119%と増加し、沖縄県(13.4)、北海道(5.3)、鹿児島県(4.7)からの報告が多かった。年齢群別では 15 歳未満が全体の約 2 割を占めた。